

令和7年度 自己評価結果報告書

学校名	成田市立神宮寺小学校
-----	------------

1 学校教育目標

○心豊かでたくましく自分を信じてがんばる児童の育成

2 本年度の重点化された具体的な目標

①学びづくりの充実(学力向上)②心づくりの充実(生徒指導・道徳教育) ③からだづくりの充実(体力向上・健康教育)④特別支援教育の充実 ⑤教職員の資質能力の向上 ⑥安全安心の学校づくり ⑦家庭・地域との連携
--

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策
教育課程 学習指導	学校の教育活動に満足している。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	今後も様々な学校行事に対して、児童や教職員をはじめ、PTAや地域が工夫しながら実施する。授業についても、児童や保護者のニーズに合わせて展開するようにする。
	学校は子どもが分かりやすいように工夫して学習指導を行っている。			
生徒指導	学校や社会のきまりやマナーを守ろうとしている。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	学校・家庭が日々のコミュニケーションを大切にし、児童や家庭との信頼関係づくりに努めている。引き続きSCや教育相談員と連携しながら信頼関係を構築する。
	学校はいじめや暴力のない学校づくりに努めている。			
特別支援教育	学校は子ども一人一人を大切に、困り感に応じた学習支援や配慮を行っている。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	特別支援コーディネーターと担任等が連携し、特別に支援を要する児童に対して、保護者と連絡を取り合いながらそれぞれに合った学習支援を展開している。今後も継続
情報発信	学校は教育方針、教育活動、子ども達の様子を学校だより・学年だより、授業参観等を通して保護者に伝えている。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	学校・学年だよりを定期的に発行したり、複数回実施の授業参観時に児童の活動の様子が分かる掲示物等を工夫したりすることができている。今後も「すぐる」等の活用も積極的に行い、情報発信に努めていく。
教育相談	子どもは困ったことがあった時、誰に相談したら良いか知っている。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	学校全体として、児童一人一人を大切にしようとする雰囲気が出来ている。今後も、一人一人の気持ちを大事に、児童が話しやすい雰囲気で作るなど、相談しやすい環境作りを進めるようにしたい。
	学校は、子ども達の理解に努め、悩みやトラブル等について、適切に対応している。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	
保護者、地域住民等との連携	学校はPTAや地域の方々と協力して、教育活動を進めている。	児童・保護者ともに90%以上が肯定的に答えている。	A	学校・家庭・地域が協働・共有体制を推進することができ、近隣の高校や幼稚園等とも行事やボランティア活動で連携が図れている。今後は児童数減やスタッフの高齢化に伴う人材確保が課題のため、広報活動に努める。

4 自己評価の結果の分析

学校生活全体に満足している児童・保護者が多かった。 特に、特別支援教育については、個々の困り感に応じた支援への成果と考えることができる。私たち教職員が多様な学びのニーズに応えることは、子どもたちが安心して過ごせる教室づくりになると考える。今後も関係機関との連携やユニバーサルデザイン(全ての児童にとって学びやすい環境)の視点を取り入れた授業改善を推進し、きめ細かな教育支援の充実を図りたい。 また、特別支援教育に限らず、学校全体として一人一人の児童を大切にしようとする雰囲気があるため、昨年度、「教育相談」の「子どもは困ったことがあった時、誰に相談したら良いか知っている。」の項目がB評価となっていたが、今年度はA評価となっている。相談先の認知が高いことは、安全・安心な学校づくりにもつながると考え、今後も「先生に話せば大丈夫」と思える信頼関係の構築を大切にしてい。SC・教育相談員との連携も含め、子どもたちが一人で悩みを抱え込まないよう、組織的な見守り体制を一層強化したいと考える。
--